

第2 生活行動（余暇活動）

1 スポーツ

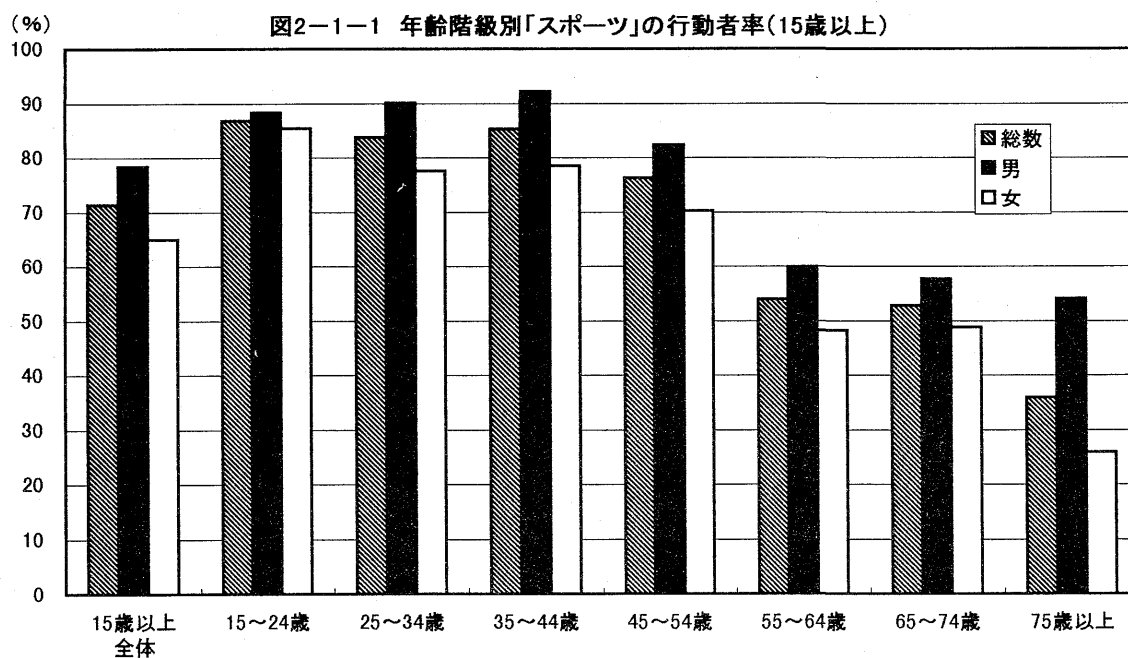
（1）過去1年間に「スポーツ」を行った人は約108万人、行動者率は71.4%

過去1年間（平成7年10月から8年9月。以下同じ）に何らかの「スポーツ」を行った人は、108万7千人で、行動者率（15歳以上人口に占める割合）は71.4%と、10人のうち7人がスポーツを行っています。このうち、男性は57万3千人で行動者率78.4%、女性は51万4千人で同64.9%となっており、男性の行動者率が高くなっています。

年齢階級別に行動者率をみると、総数では15～24歳の層が86.8%と最も多く、男性は35～44歳の層の行動率92.2%が、女性は15～24歳の層の行動率85.4%が最も多くなっています。

また、男女別に比較すると、すべての年齢階級で男性の行動者率が女性を上回っており、年齢が高くなるほど男女差が大きくなる傾向にあります。

特に75歳以上では、男性が54%と半数以上の人々がスポーツを行ったのに対し、女性は、25.9%と約4分の1にとどまっています。（図2-1-1）



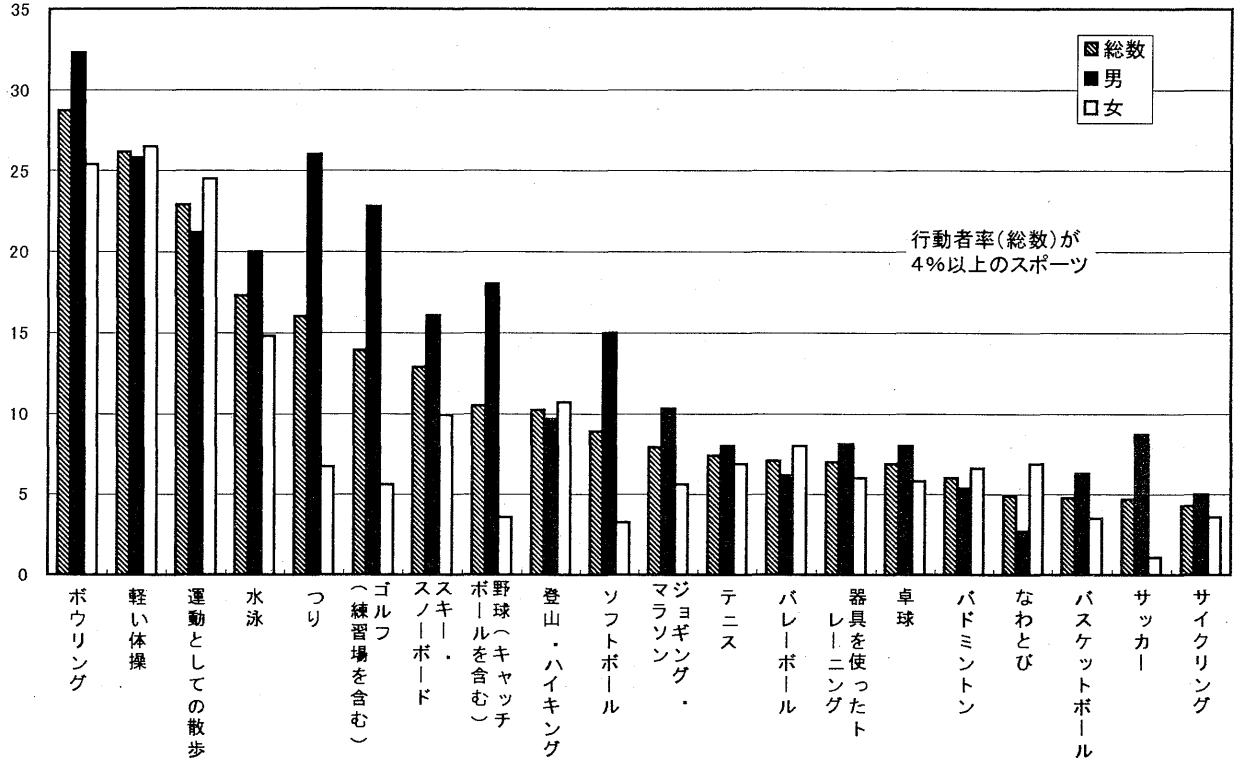
（2）行動者率が高い「軽い体操」と「運動としての散歩」

「スポーツ」の種類別に行動者率をみると、「ボウリング」が28.7%で最も多く、以下「軽い体操」が26.2%、「運動としての散歩」が22.9%、「水泳」17.3%と続いています。

また、男女別に行動者率が20%を超えるものをみると、男性は上記の4種類のほかに「釣り」「ゴルフ（練習場を含む）」を加えたの6種類となっていますが、女性は「水泳」を除く3種類となっています。（図2-1-2）

(%)

図2-1-2 「スポーツ」の種類別行動者率(15歳以上)



(3) 男性で盛んな屋外球技と「つり」、女性は美容・健康関連や手軽なもの

スポーツの種類別の行動者率を男女で比較すると、ほとんどの種類で男性が女性を上回っており、特に屋外球技である「野球」、「ゴルフ」、「ソフトボール」、「サッカー」と「つり」では、女性よりも10ポイント以上高くなっています。

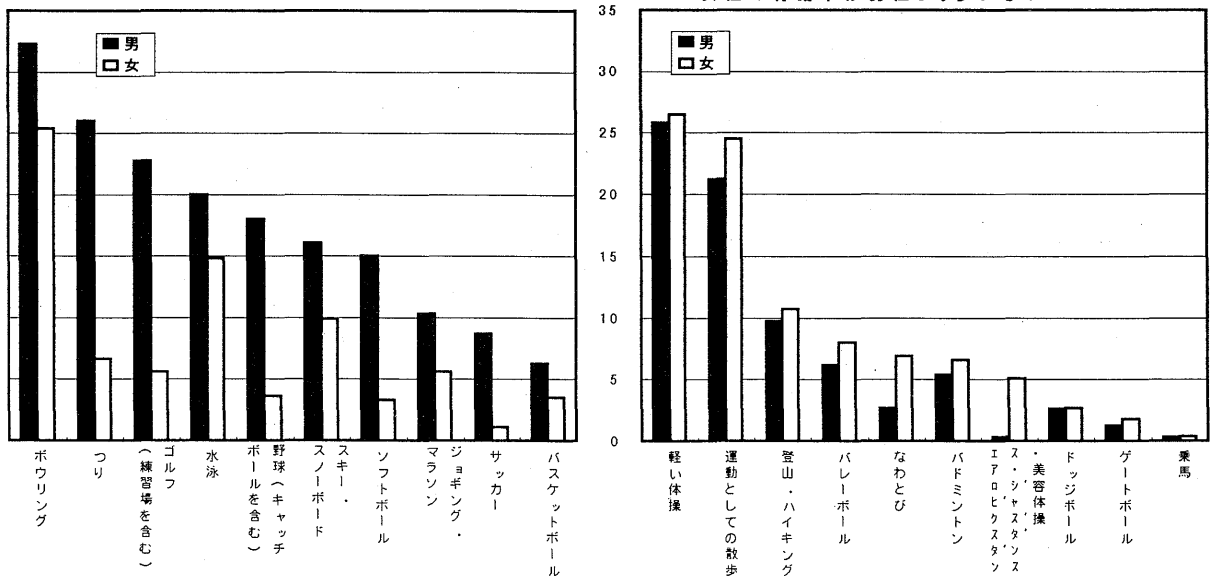
一方、女性の行動者率が男性を上回るものは、「エアロビクスダンス・ジャズダンス・美容体操」、「軽い体操」、「運動としての散歩」などの美容・健康に関するものや、1人であるいは手軽にできるものとなっています。(図2-1-3)

図2-1-3 「スポーツ」の種類別行動者率(15歳以上)

男性の行動率が女性より多いもの

(%)

女性の行動率が男性より多いもの



2 学習・研究

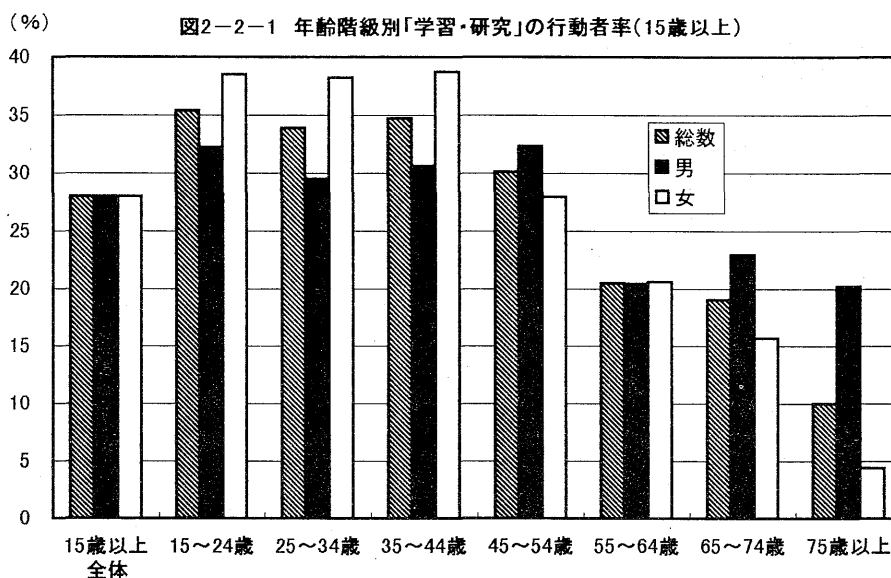
(1) 過去1年間に「学習・研究」を行った人は約42万人、行動者率は28.0%

過去1年間に何らかの「学習・研究」を行った人は42万6千人で、行動者率は28.0%となっています。

このうち、男性は20万5千人で行動者率28.0%、女性は22万1千人で同28.0%となり、ほぼ同じ行動者率となっています。

年齢階級別に行動者率を見ると、男性は45～54歳の層が、女性は35～44歳の層が最も高くなっています。

また、年齢が高くなるに従って女性の行動者率は低くなっています。(図2-2-1)



(2) 「学習・研究」の行動者率は男女とも平成3年より低下

15歳以上の人について、平成8年の「学習・研究」の行動者率を平成3年と比べると、男性で6ポイント、女性で4.8ポイントの低下となっています。

また、「学習・研究」の内訳別に平成3年と比べると、男性は「外国語」、「人文・社会科学(歴史・政治・経済等)」、

表2-2-1 「学習・研究」の種類別行動者率(15歳以上)

	男			女		
	平成3年	平成8年	増減	平成3年	平成8年	増減
総数	34.0	28.0	-6.0	32.8	28.0	-4.8
外国語	9.0	6.3	-2.7	7.5	5.9	-1.6
商業実務・ビジネス関係	9.6	7.6	-2.0	4.9	2.8	-2.1
工学・工業関係	7.8	5.8	-2.0	0.1	0.3	0.2
医学・保健	3.0	3.6	0.6	4.9	5.1	0.2
調理・理容・美容(専門的なもの)	1.4	1.0	-0.4	3.0	2.6	-0.4
家政・家事(料理・裁縫・家庭経営等)	0.8	0.8	0.0	14.3	8.8	-5.5
育児・家庭教育	1.4	0.7	-0.7	7.7	5.2	-2.5
教育・社会福祉	3.3	3.1	-0.2	4.8	5.2	0.4
人文・社会科学(歴史・政治・経済等)	7.4	5.2	-2.2	4.2	2.6	-1.6
自然科学(数学・物理・生物・農学等)	5.3	4.3	-1.0	3.0	1.4	-1.6
芸術・文化	6.0	4.8	-1.2	9.4	6.6	-2.8
時事・問題	6.3	4.9	-1.4	3.3	2.1	-1.2
その他	4.7	4.6	-0.1	2.7	2.9	0.2

※ 増減は平成8年の率から平成3年の率を引いたポイント差

「商業実務・ビジネス関係」、「工学・工業関係」が、女性では「家政・家事(料理・裁縫・家庭経営等)」、「芸術・文化」、「育児・家庭教育」、「商業実務・ビジネス関係」が2ポイント以上低下しています。(表2-2-2)

(3) 「商業・ビジネス関係」は男性、「家政・家事」は女性が高く、「外国語」は男女とも高い行動率

「学習・研究」の種類別行動者率をみると「外国語」が6.1%で最も多く、ついで「芸術・文化」が5.7%、「商業・ビジネス関係」が5.1%、「家政・家事(料理・裁縫・家庭経営等)」4.9%となっています。

男女別にみると、男性は「商業実務・ビジネス関係」が7.6%と一番多く、「外国語」が6.3%、「工学・工業関係」が5.8%と続いています。

一方、女性は「家政・家事(料理・裁縫・家庭経営等)」が8.8%

と一番多く、「芸術・文化」が6.6%、「外国語」が5.9%と続いています。

「学習研究」を行ったこの1年間の行動日数を男女別にみると、男性の「家政・家事(料理・裁縫・家庭経営等)」、女性の「自然科学(数学・物理・生物・農学等)」、「商業実務・ビジネス関係」が多行動者率は低いものの行動日数が多くなっています。(表2-2-1)

表2-2-2

「学習・研究」の種類別行動者率及び平均行動日数(15歳以上)

	総数 (行動者率)	男		女	
		行動者率	平均行動日数	行動者率	平均行動日数
総数	28.0	28.0	—	28.0	—
外国語	6.1	6.3	86.2	5.9	111.9
商業実務・ビジネス関係	5.1	7.6	45.8	2.8	57.0
工学・工業関係	3.0	5.8	71.6	0.3	100.7
医学・保健	4.4	3.6	47.8	5.1	57.3
調理・理容・美容(専門的なもの)	1.8	1.0	32.9	2.6	48.9
家政・家事(料理・裁縫・家庭経営等)	4.9	0.8	93.0	8.8	57.1
育児・家庭教育	3.0	0.7	25.4	5.2	49.3
教育・社会福祉	4.2	3.1	52.4	5.2	39.7
人文・社会科学(歴史・政治・経済等)	3.9	5.2	67.4	2.6	87.0
自然科学(数学・物理・生物・農学等)	2.8	4.3	80.6	1.4	121.8
芸術・文化	5.7	4.8	63.4	6.6	53.3
時事・問題	3.4	4.9	63.6	2.1	86.0
その他	3.7	4.6	49.9	2.9	92.9

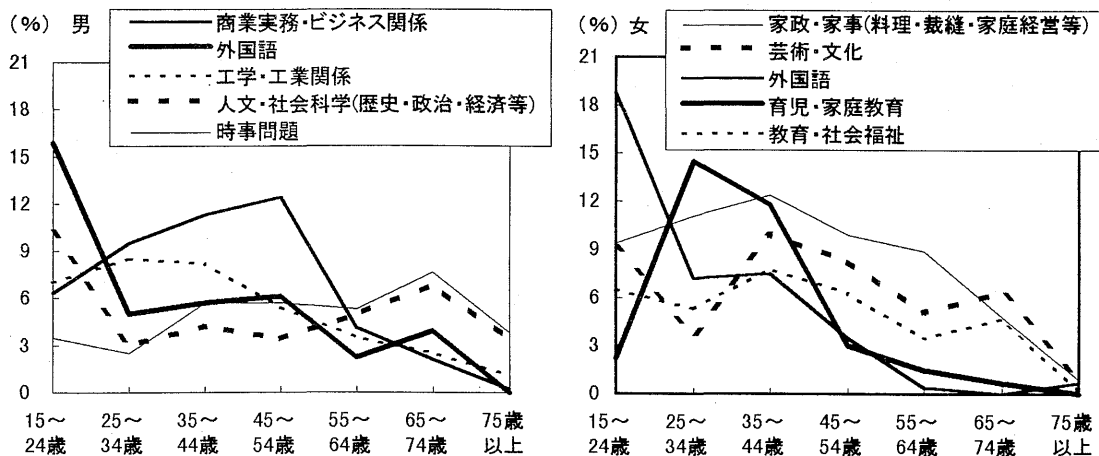
(4) 15~24歳の層で男女とも際立って行動者率の高い「外国語」

「学習・研究」のうち、男女別に行動者率高い上位5種類について年齢階級別の行動者率をみると、男女とも「外国語」は15~24歳の層で極めて高くなっています。

男性は、「商業実務・ビジネス関係」が25~54歳の層で高くなっています。

一方、女性は、「家政・家事(料理・裁縫・家庭経営等)」が35~44歳の層で、「育児・家庭教育」が25~44歳の層で高くなっています。(図2-2-2)

図2-2-2 年齢階級、「学習・研究」の種類別行動者率(15歳以上)



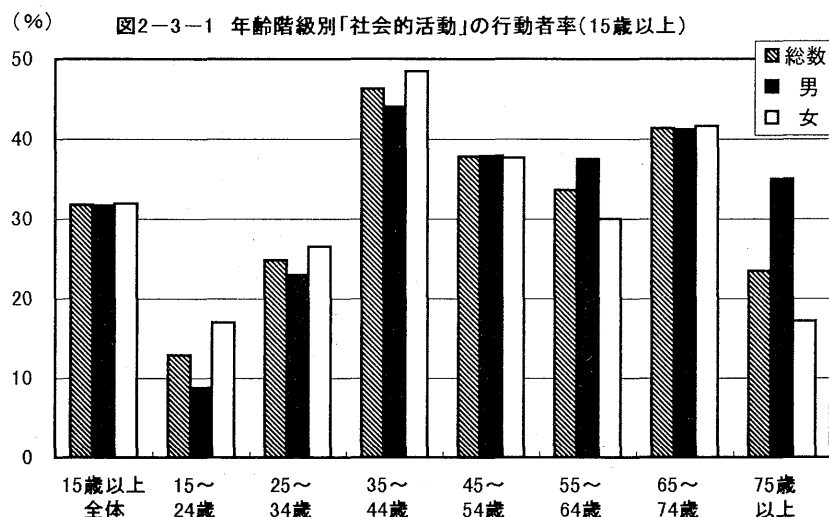
3 社会的活動

(1) 過去1年間に「社会的活動」を行った人は約48万人、行動者率は31.8%

過去1年間に何らかの「社会的活動」を行った人は、48万4千人で、行動者率は、31.8%と、3人に1人は社会的活動を行っています。

このうち、男性は23万2千人で行動者率は31.7%、女性は25万2千人で同31.9%となっており、男女の行動者率はほぼ同じになっています。

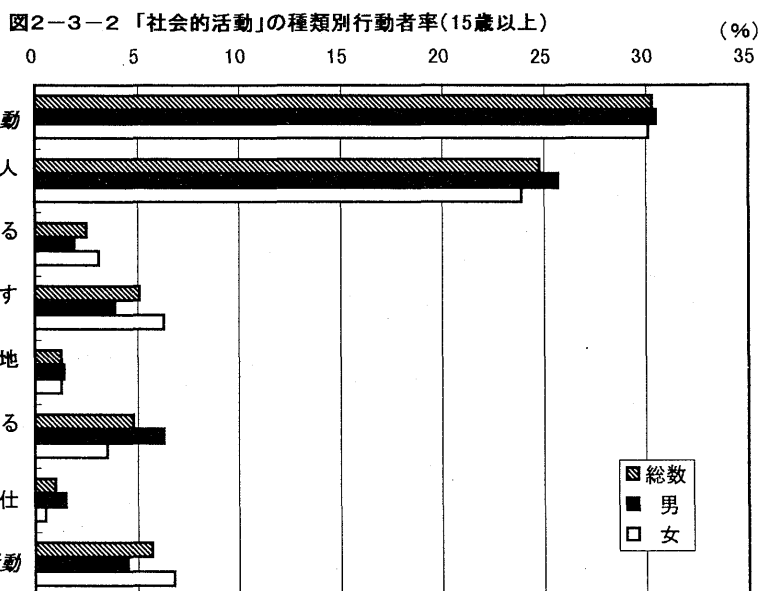
また、年齢階層別に行動者率を見ると、男女とも34歳までの層が低く、35～44歳の層が最も高くなり、65～74歳までの層でも高くなっています。(図2-3-1)



(2) 「社会奉仕活動」を行った人は約46万人、行動者率は30.3%

行動者率が最も高いのは「地域社会や居住地域の人に対する奉仕」

15歳以上の人で「社会的活動」のうち「社会奉仕活動」を行った人は46万1千人で行動者率30.3%、市民活動などの「社会参加活動」を行った人は8万6千人で同5.7%となっています。



行動者率を男女別に見ると、「社会奉仕活動」は男性が30.5%、女性が30.1%、「社会参加活動」は、男性が4.5%、女性が6.8%となり「社会奉仕活動」はほぼ同率、「社会参加活動」は女性の行動者率が高くなっています。

「社会奉仕活動」を奉仕の種類別にみると、行動者率が最も高いのは男女とも「地域社会や居住

地域の人に対する奉仕」で、男性が25.7%、女性が23.9%となっています。次いで男性は「その他一般の人に対する奉仕」、「児童・老人・障害者に対する奉仕」の順となり、女性は、「児童・老人・障害者に対する奉仕」、「その他一般の人に対する奉仕」の順になっています。（図2-3-2）

（3）女性の35～44歳の層で最も高い「社会奉仕活動」の行動者率

「社会奉仕活動」と「社会参加活動」について年齢階級別の行動者率をみると、「社会奉仕活動」、「社会参加活動」とも35～44歳の層が最も高くなっています。

また、「社会参加活動」は25～34歳、75歳以上の層を除いて女性の行動者率が、男性を上回っています。（図2-3-4）

「社会奉仕活動」を種類別にみると、「地域社会や居住地域の人に対する奉仕」は男女とも35～44歳、65～74歳の層が高くなっています。「福祉施設等の人に対する奉仕」は女性の行動率が男性よりも高く、男女とも65～74歳の層が最も高くなっています。「児童・老人・障害者に対する奉仕」は女性の35～44歳の層がきわめて高くなっています。「その他一般の人に対する奉仕」は男性の35～44歳の層が最も高く、これより年齢が高くなるに従って行動率は低下していますが、55歳以上になると再び上昇しています。「公的な奉仕」は、男性の65歳以上の年齢層から急激に上昇しています。（図2-3-5）

図2-3-4 年齢階級、「社会的活動」の種類別行動者率(15歳以上)

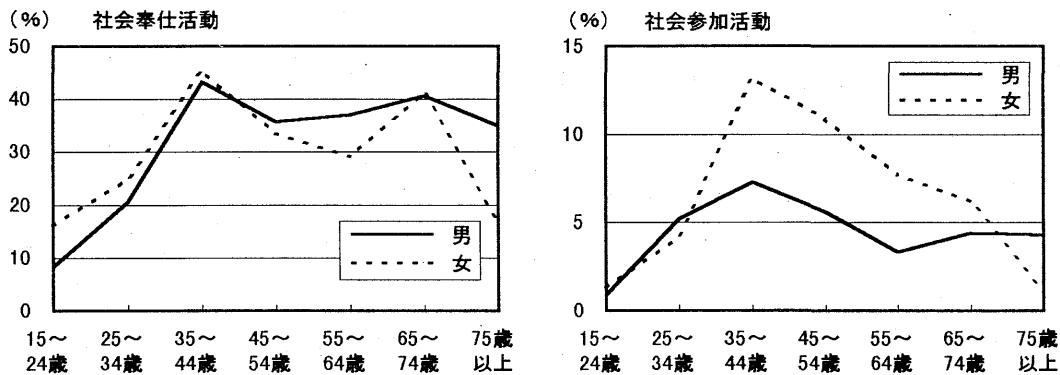
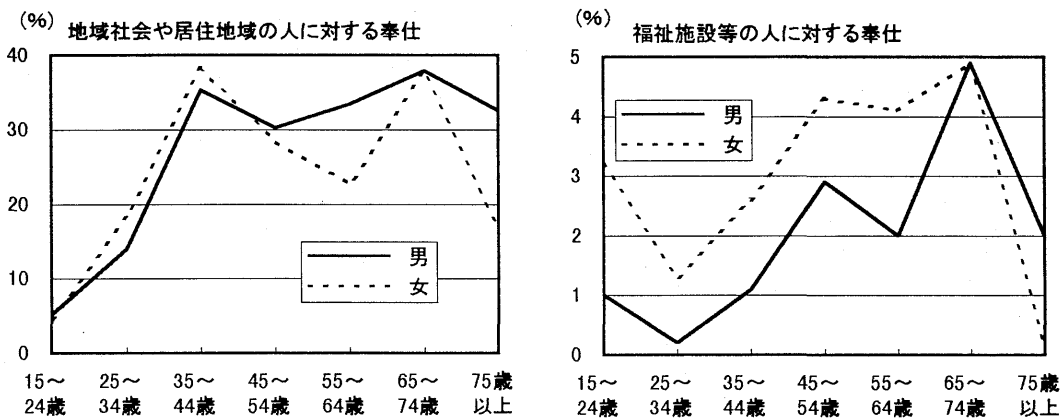
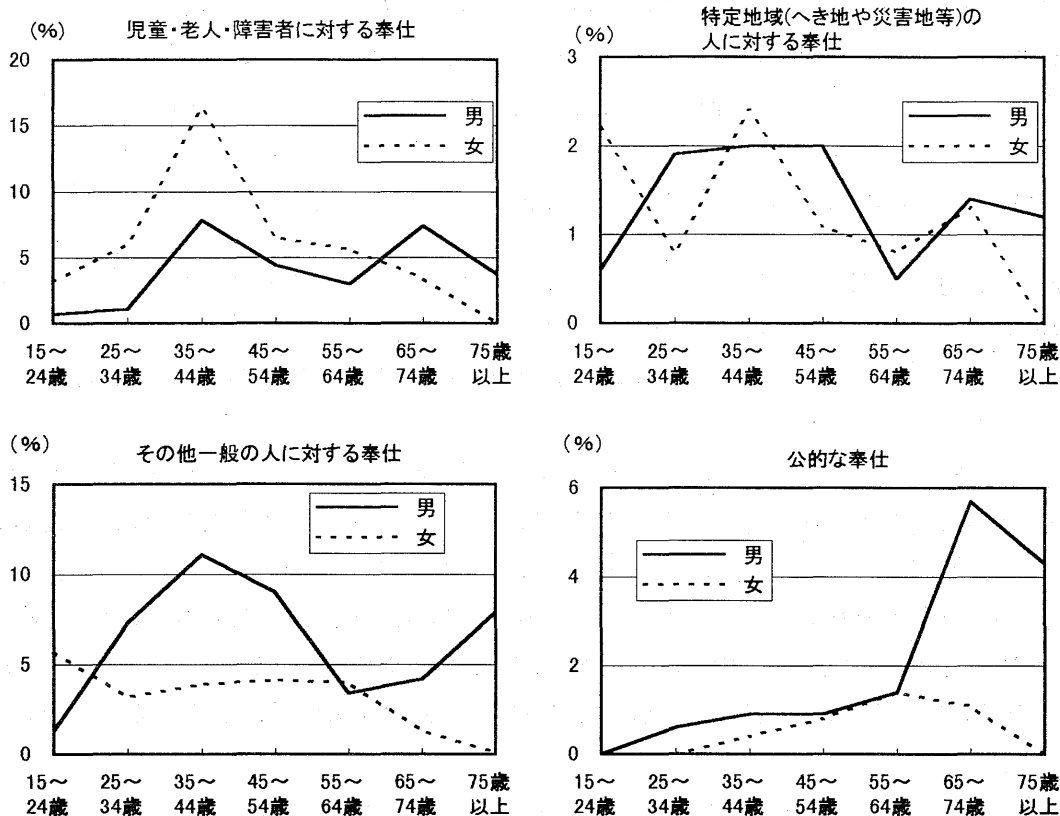


図2-3-5 年齢階級、「社会奉仕活動」の種類別行動者率(15歳以上)





(4) 「社会的活動」の行動者率は男女とも上昇

15歳以上の人について、「社会的活動」の行動者率を平成3年と比較すると、男性は30.6%から31.7%へと1.1ポイントの上昇、女性は29.7%から31.9%へと2.2ポイント上昇しています。「社会奉仕活動」は男性が2.2ポイント、女性が2.9ポイント上昇しています。「社会参加活動」は男性が1.6ポイント低下、女性が0.5ポイント上昇しています。

また、「社会奉仕活動」を種類別にみると、男女とも「地域社会や居住地域の人に対する奉仕」、「特定地域の人に対する奉仕」は低下しています。(表2-3-1)

表2-3-1 「社会的活動」の種類別行動者率の増減(15歳以上)

	男			女		
	平成3年	平成8年	増減	平成3年	平成8年	増減
社会的活動	30.6	31.7	1.1	29.7	31.9	2.2
社会奉仕活動	28.3	30.5	2.2	27.2	30.1	2.9
地域社会や居住地域の人に対する奉仕	22.6	25.7	3.1	20.3	23.9	3.6
福祉施設等の人に対する奉仕	2.2	1.9	-0.3	2.5	3.1	0.6
児童・老人・障害者に対する奉仕	4.2	3.9	-0.3	6.4	6.3	-0.1
特定地域(へき地や災害地等)の人に対する奉仕	3.9	1.4	-2.5	3.5	1.3	-2.2
その他一般の人に対する奉仕	6.9	6.3	-0.6	5.1	3.5	-1.6
公的な奉仕	1.3	1.5	0.2	0.9	0.5	-0.4
社会参加活動	6.1	4.5	-1.6	6.3	6.8	0.5

※ 増減率は、平成8年の率から平成3年の率を引いたポイント差